

令和5年度 第2回京都市保健所運営協議会 摘録

令和5年12月26日(火)
午後2時～午後3時
京都府医師会館 211会議室

1 出席者(敬称略) *はWEB参加

<委員>

○ 関係団体代表委員

京都府医師会：松田 義和	京都府歯科医師会：中村 雅彦*
京都府薬剤師会：夏目 君幸*	京都市保健協議会連合会：堺 紀恵子
京都市食品衛生協会：太田 眞一*	京都府理容生活衛生同業組合：(欠席)
京都府美容業生活衛生同業組合：廣瀬 雅之*	京都府旅館ホテル生活衛生同業組合：松本 義正*
京都府公衆浴場業生活衛生同業組合：(欠席)	

○ 各区地域保健推進協議会代表委員

北(西陣医師会)：田中 誠*	上京(上京東部医師会)：(欠席)
左京(左京医師会)：塩見 聡史*	中京(中京保健協議会連合会)：山本 真澄
東山(東山医師会)：原田 剛史*	山科(山科区健康長寿推進協議会)：(欠席)
下京(下京西部医師会)：(欠席)	南(南保健協議会連合会)：(欠席)
右京(右京医師会)：松木 正人*	西京(西京民生児童委員会)：(欠席)
伏見(伏見保健協議会連合会)：小川 正雄	

<事務局>

○ 京都市保健所

京都市保健所長：池田 雄史	京都市保健所次長：谷利 康樹
京都市保健所参事：有本 晃子	京都市保健所参事：松村 貴代
(健康長寿のまち・京都推進室/健康長寿企画課)	
健康長寿のまち・京都推進室長：阪本 一郎	健康長寿企画課長：木下 尚彦
計画推進担当課長：田賀 千津	
(医療衛生推進室/医療衛生企画課)	
医療衛生企画課長：中濱 正晃	予防接種担当課長：吉田 健二
健康危機対策担当課長：上領 孝枝	担当課長：佐々木 崇剛
食品安全担当課長：柴田 さよ	生活衛生担当課長：篠崎 史義
(障害保健福祉推進室)	
施設福祉課長：北垣 政治	
(子ども家庭支援課)	
子育て支援担当課長：南部 美紀子	

2 開会挨拶

池田保健所長

3 議事

○ 議題・報告（1）令和4年度京都市保健所運営方針取組結果等について

⇒ 事務局（医療衛生企画課、健康長寿企画課、子ども家庭支援課、障害保健福祉推進室）から資料説明。

【質疑応答】

夏目委員： HPVワクチンの予防接種の受診勧奨について、送付対象年齢の全ての方に送付したのか。また、9価ワクチンによる接種控えがあるかと思うが、令和4年度の接種件数（14,935件）は、接種対象者のうちの大体何%に相当しているのか。

吉田課長： まず、接種対象者への個別通知は、対象者全員に送付している。

次に、令和4年度の接種件数14,935件については、9価ワクチンが令和5年度から定期接種化することを踏まえた接種控えもあったのではないかと考えている。接種件数は、定期接種とキャッチアップの接種、両方含んでいる。両方含んだ対象者数が96,034件、それを3倍した数値（288,102）で接種件数（14,935件）を割ると、約5.2%となる。算定においては前年度接種した方も、対象者数に含めて計算している。

松田会長： 定期接種の方の接種率と、それからキャッチアップの対象者の接種率はかなり違うのではないかと思うが、いかがか。

吉田課長： 1回目だけで、単純に比較した場合ではあるが、令和4年度のキャッチアップ接種の方が5.66パーセント、定期接種の方が7.95パーセントとなっており、定期接種の方が少し高い結果になっている。

松田会長： 勧奨の郵送の話があったが、接種された保護者のお母様にお聞きすると、やはり郵便で接種勧奨が郵送されてくるということは相当インパクトがあるようだ。これは新聞等で広告を見てもなかなか行かないが、郵便でくるとそれなりに反応される方があるということで、やはり繰り返し勧奨することを検討いただきたい。

もう1点、京都府医師会において、フレイル対策アプリを策定している。京都府と共同して作っており、フレイルスコアをネットで簡便にどなたでもお使いいただけるアプリとなっている。京都市が健康増進の取り組みをされる中で、評価点数として使用いただくことも可能かなと思う。また、場合によっては情報提供するので、ご利用いただければなというふうに思う。

あと、母子保健推進のスポットビジョンの実施に関して、何かトラブルや事故措置等がないか、眼科医会の先生方からも聞いてくれと言われており、何か問題とか、あ

るいは順調に進められておられるのか、聞かせていただきたい。

南部課長： 令和4年7月から始まったところで、精密検査に出された件数等は把握しているが、その後の結果について等の分析は、まだこれからというところ。この検査を実施したことによって、精密検査の件数も増加しており、要治療となる方の割合も増加しているということは、見えてきている。

松田会長： 来年度から京都府も全体でこのスポットビジョンの精度管理を行うという体制が実現する。また府市協調ということで、京都市においても、スポットビジョンの精度管理、委員会について、またご協力いただければと思う。

○ **議題・報告（2）令和5年度各区地域保健推進協議会（部会）の開催状況等について**

⇒ 事務局（健康長寿企画課）から資料説明。

【質疑応答】

なし

（その他 意見等）

松田会長： 健康増進事業に各区で取り組んでいると思うので、来年度から詳細の報告を具体的にいただければと思う。

○ **議題・報告（3）「京都市 健康長寿・口腔保健・食育推進プラン」（仮）の策定に向けた市民意見募集について**

⇒ 事務局（健康長寿企画課）から資料説明。

【質疑応答】

なし

（その他 質疑応答等）

松田会長： コロナ禍で、地蔵盆など、みんなで食事をするような機会がなくなった。なかなかそういうことを元に戻すのは難しいと思うが、世代を超えた交流は非常に大切で、地域一緒に食事をするなども隠れた食育に繋がっている。市民意見募集ということで、委員の皆様はせっかくの機会ですので意見募集にご協力いただき、行政は地域力の復活など、より良い施策になっていくよう、様々な意見を取り入れて検討いただければと思う。

京都市には、それぞれの事業について、取組の評価や総括の基準を明確にして、委員の先生方から意見を頂戴し、次のステップへ取り組んでいただきたい。京都市の人口もどんどん流出しており、特に母子保健等においてはしっかりとした施策を打っていただき、京都市に若い世代が留まれるように、保健所行政からもバックアップして

いただきたい。

4 開会挨拶

谷利保健所次長